

みんなおいでよ 博物館の講座

平成21年度の博物館の講座

地学講座「化石」

- 1 5月31日 開講式・御船層群の化石採集
- 2 7月5日 化石研究のはなし（地学セミナー参加）
- 3 9月13日 八代地域の白亜紀層（化石採集）
- 4 10月25日 化石のクリーニングと整理
- 5 11月15日 恐竜のはなし（地学セミナー参加）
- 6 3月28日 展示発表・閉講式

通年での講座です。要予約 定員20名 小学校高学年～大人対象

地学セミナー

- 7月5日 化石研究のはなし
11月15日 恐竜のはなし

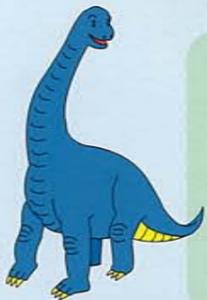
要予約（前日まで） 定員50名 大人対象



土曜日だ博物館に行こう

- 5月9日 恐竜化石のレプリカづくり
6月6日 ミクロの化石
12月12日 恐竜アートに挑戦
1月23日 河原の石ころ
3月20日 恐竜化石の研究法

予約の必要はありません。定員30名 小・中学生対象



JST 地域の科学舎推進事業 地球探検隊

「くまもとの大地から地球をのぞく」

- 10月11日 阿蘇火山
11月1日 御船層群
12月13日 メガロドン石灰岩と付加帯

事前申し込みが必要です。1ヶ月前から予約受付します。
定員 各30名 小学生～大人対象

その他のイベント

- 5月10日 「地質の日」
8月1日～8月7日 ミフネリュウ発見ウィーク
8月25日～12月6日 ミフネリュウ発見30年記念企画展
8月30日 セミナー（要予約 定員100名 小学校～大人対象）

サマースクール

- 7月26日 化石教室 定員40組 小学生～大人対象
8月1日～8月2日 ミュージウムキャンプ
定員40名 小・中学生対象
8月30日 企画展体験教室
レプリカづくり 定員50名 小学生～大人対象
恐竜発掘体験 定員30名 小学生～大人対象

事前申し込みが必要です。1ヶ月前から予約受付します。



御船町恐竜博物館情報誌 ダイナソートピックス

Dinosaur Topics

No.17

2009.3.31

WWW.mifunemuseum.jp



白岩から恐竜化石発見！

アートコンテスト
写真で読む地球史「ビッグバンド国立公園」
開館から10年
博物館の教育活動



御船町白岩で発見された肉食恐竜の化石

みんなおいでよ博物館の講座



Dinosaur Topics

No.17 March 31, 2009

御船町恐竜博物館情報誌
ダイナソートピックス No.17

■発行日/平成21年3月31日
■編集・発行/御船町恐竜博物館
〒861-3207 熊本県上益城郡御船町大字御船995-3
TEL (096)282-4051 FAX (096)282-4157

http://www.mifunemuseum.jp
eメール: info@mifunemuseum.jp

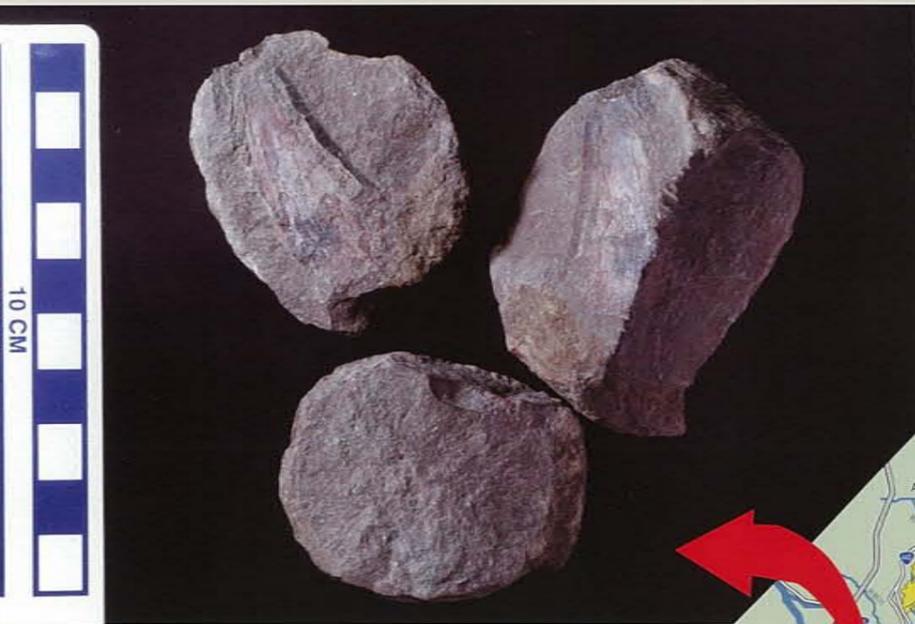
印刷/ホープ印刷株式会社

御船町辺田見白岩から甲佐町白旗にかけて、御船層群上部層が大規模に露出しています（表紙写真）。この露頭は、御船層群上部層の典型的な露頭断面で、赤色層や凝灰岩層が見られます。平成20年12月に持ち込まれた化石が肉食恐竜の歯の化石であることが判明しました。この化石は、1985年頃、浪床憲一さんと浪床洋一さんによって、採集されていたもので、この発見によって、新たな恐竜化石発見の重要な手がかりが得られ、白岩付近の地層の重要性がさらに高まりました。

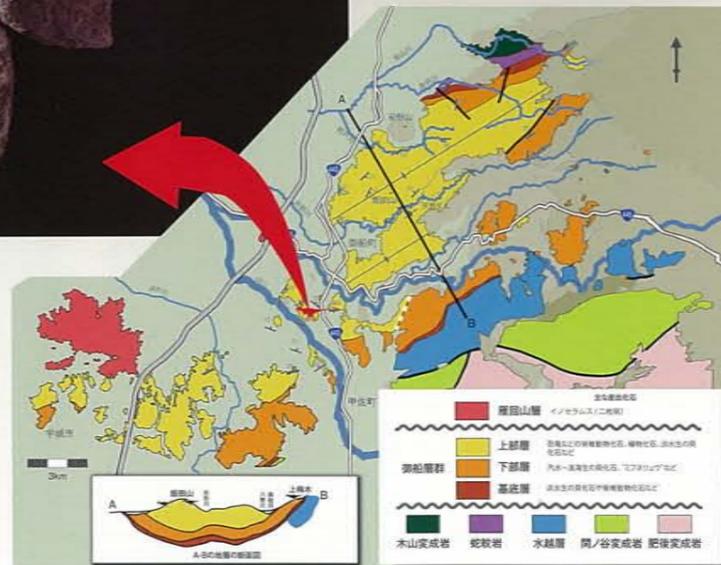
当時小学生であった洋一さんは、割れた石ころの表面に、化石のようなものがあることに気がつき、化石だと信じて自宅で保管していましたが、これまで詳しく調べてみる機会がありませんでした。最近、洋一さんのお子さんが恐竜に興味を持ち、おじいちゃんの憲一さんとともに、何度か恐竜博物館に来館したことが、今回の“再発見”のきっかけとなりました。親子三代による大きな成果です。

ほとんどの肉食恐竜の歯には、鋸歯（セレーション）という小さなギザギザがあります。鋸歯の大きさや形は種類によってちがひ、恐竜の種類の特定に役立つこともあります。この化石の鋸歯はそれほど大きくなく、ミフネリュウや上部層の肉食恐竜の歯化石と同じ特徴を示しています。肉食恐竜の歯は、生きているうちに何度も生えかわるため、古くなって抜け落ちた歯が化石になることがよくあります。

化石が含まれていた石は丸みがあってチョコレート色をしており、まわりの石より硬いものです。このように炭酸カルシウムや珪酸などが濃集してできた泥や砂のかたまりをノジュールといいます。この歯の化石はノジュールの中に殻として残っていました。この様な状態で化石が見つかるのは、御船層群の中では、大変めずらしいことです。



石灰質のノジュールの中に保存されていた肉食恐竜の化石（1985年頃浪床洋一氏発見）。



化石産地

発見！ 御船町白岩から肉食恐竜の化石

恐竜アートコンテスト

開館10周年記念事業として、恐竜アートコンテストと作品展を開催しました。町内外から恐竜をモチーフにした絵画や工芸作品、167点の応募がありました。作品は12月4日から26日まで、カルチャーセンターで展示され、見学者による投票も行われました。審査は、実行委員会や専門家によって行われ、見学者の投票結果と総合して各賞が決定しました。グランプリには宮崎幸穂さん（御船町）の「私の町のたからもの」が選ばれました。幼児から大人まで、各部門ごとに優秀作品が選ばれ、特別賞も選定されました。



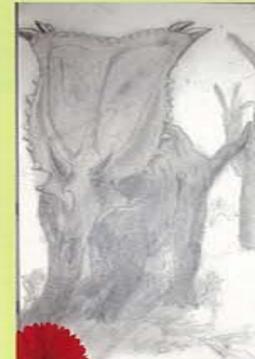
館長賞「リュウボクザウルス」
河地颯馬さん（御船町）



町長賞「恐竜フネビまり」
松本和子さん（御船町）



実行委員長賞「ペディキュア (ユタラトル)」
小松大輔さん（高知市）



中学生の部「カスモサウルス」
高田尚弥さん（御船町）



グランプリ「わたしの町のたからもの」
宮崎幸穂さん（御船町）



「雨の中のディノイクス」
藤森英二さん（長野県南佐久郡小海町）



工芸の部「恐竜のお雑燗」
福永スィリポーンさん（御船町）



幼児の部最優秀賞
「なかよしティラノくん」
金丸しょうたさん（福岡市）



小学校低学年の部
「スピノサウルス魚をゲット」
金丸ゆうたさん（福岡市）



小学校高学年の部
「私ときょうりゅう！」
上原真亜子さん（御船町）



高校生の部「恐竜イラスト」
徳村優太郎さん（御船町）

各部門優秀作品

ビッグベンド国立公園

池上直樹

ビッグベンド国立公園は、アメリカテキサス州にある国立公園である。アメリカとメキシコとの国境に位置し、公園内にはメキシコとの国境の川、リオグランデ川が流れている。この地域には主に白亜紀と第三紀の地層が分布し、恐竜や翼竜をはじめとして、多種多様な化石が産出している。特に白亜紀の翼竜化石産地として有名で、史上最大の飛翔生物、ケツアルコアトルスの化石が見つかった。

平成19年10月、アメリカテキサス州、オースティンで開催された古脊椎動物学会に参加し、テキサス州南西部のビッグベンド国立公園を訪問することができた。ビッグベンド国立公園は、同じテキサス州といっても、オースティンから西へ500マイル(800キロメートル)以上あり、熊本からだだ京都の少し先まで行くような距離である。巡検初日は早朝に出発し、1日がかりのドライブであった。ビッグベンド国立公園には荒涼としたバッドランドが広がり、多様な地質と豊富な化石を観察することができた。



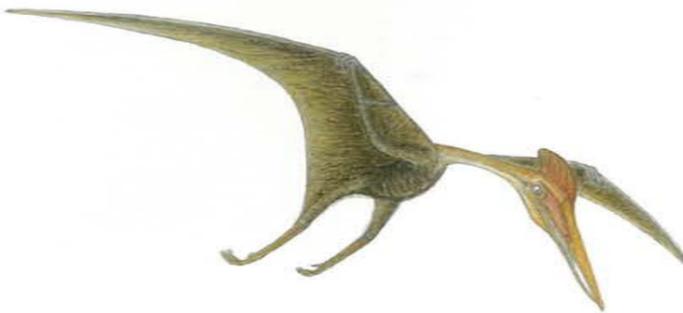
サンタエレナ渓谷
リオグランデ川がつくる渓谷。渓谷の右側がアメリカで、左側がメキシコ。主にサンタエレナ石灰岩(上部)とデルカルメン石灰岩(下部)からなる。崖の最下部には白亜紀前期のグレンローズ層が露出している。崖の手前に断層があり(テリングア断層)手前の土地が相対的に落ちている。



ケツアルコアトルスの全身骨格復元
(いのちのたび博物館の特別展にて展示)
ケツアルコアトルスは翼開張が10メートルを超える大型の翼竜で、歯はなかったが角質で覆われたクチバシを持っていた。首が長い、可動性が制限される骨格のつくりをしている。



ビッグベンド国立公園の位置



リオグランデ川沿いにある温泉



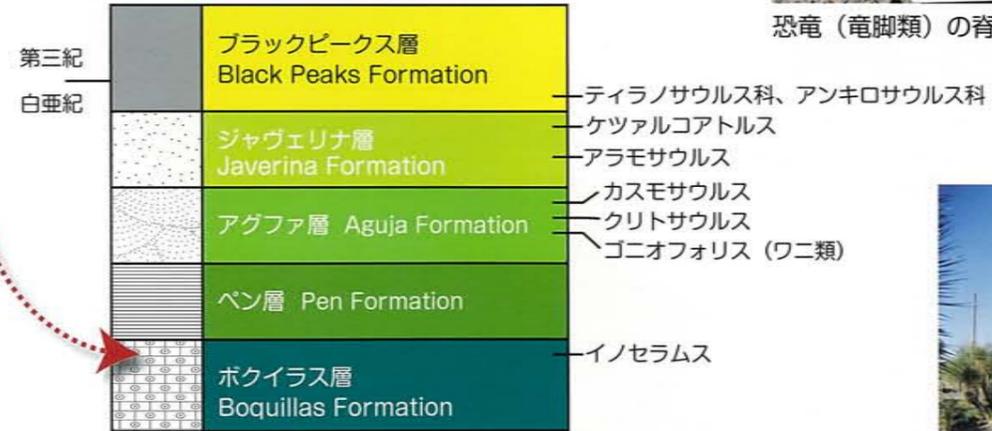
古典的な第三紀の脊椎動物化石産地
コリフォドンやヒラコテリウムなどエオシンの代表的な哺乳類化石が産出している。解説している人物は、この巡検のリーダー、リーマン教授(テキサス工科大学)



ボクイラス層産最上部のイノセラムスの化石(*Sphenocerasmus* sp.) 最上部のサンピセント部層はコニアシアンからサントニアン年代を示す。



恐竜(竜脚類)の脊椎骨



ビッグベンド国立公園に分布する白亜紀後期の地層の層序



今回のビッグベンド巡検の拠点の宿



翼竜ケツアルコアトルスの産地



砂漠の中にあるレストラン、ラ・キーバとテキサス名物のバーベキュー。バーベキューはボリュームがあるが、味はあっさりとしている。

恐竜博物館開館 10周年

平成20年4月30日、御船町恐竜博物館は開館から10周年を迎えました。これを記念して、4月29日に10周年感謝祭が開催されました。当日は入館料無料だったため、多くの来場者がありました。木村元一副町長を実行委員長として、実行委員会が組織され、町職員と地域の有志の参画を得ることもできました。天候にも恵まれ、多くの来賓の参加のもと、記念式典が行われました。

メイン会場では、アトラクションやオークションもおこなわれました。オークションの出品物は、この取り組みに賛同してくれた有志の方々からのものでした。

恐竜化石調査体験やの陶芸教室などの教室もあり、たくさんの参加がありました。陶芸教室は、一道窯の高田一道さんの指導のもと、恐竜やお皿など、参加者が思い思いの作品を製作しました。



展示室で就寝

ミュージアムキャンプ & スプラッシュフェスタのコラボ

毎年恒例のミュージアムキャンプは8月2～3日の2日間で行われ、県内外から47名の小・中学生が参加しました。カルチャーセンターで開講式を行った後、御船町商工会が主催したカヌー体験イベントに参加しました。

カヌーは「おもいで橋」から出発でした。川の流力は思ったよりも速く、なかなか思うとおりにいかなくて後ろ向きに進んだり、ときには途中で岸にぶつかったりすることもありました。でも、とても気持ちよさそうです。日頃は見る事ができない景色や水や草木が見えたことと思います。

カルチャーセンターで昼食後、吉無田水源に向かい、冷たい水をくみました。吉無田水源では、偶然にもセミが羽化している様子が観察できました。

夕食は「恐竜カレー」です。みんなで協力して、カレーとサラダを作りました。吉無田水源の水も一緒に飲みました。

お風呂に入って展示室で就寝です。恐竜たちの下でどんな夢を見たのでしょうか？



蝉の羽化



カヌー体験



恐竜カレーづくり

御船層群の化石 (08.11.30)

御船層群では、いろいろな種類の化石を採集することができます。恐竜、ワニ、カメ等の脊椎動物化石、貝のなかま、植物の化石など、様々な環境に生息・分布した生物の化石が含まれます。この教室では、御船層群下部層が露出している御船川の河原に行き、化石採集を行いました。

出発前に御船層群下部層から見つかる化石について館内で学習し、博物館から徒歩でバス停を目指しました。今回の教室では路線バスを使って現地まで移動しました。バスを降りて細い山道を降りてようやく河原に到着。いよいよ化石採集です。博物館でも見た「セリシウム」の化石もありました。表面に穴があいた岩石を見つけて、ハンマーで割ると、中から貝の化石がたくさん出てきました。帰りの坂道は大変でしたが、天候にも恵まれ、楽しい一日でした。



化石採集

恐竜消しゴムをつくろう！

消しゴム粘土をこねて、恐竜などの古生物をモデルとした消しゴムづくりに挑戦しました。展示物を見ながら形にして、できたらお湯の中に入れて約10分。いろいろな消しゴムができました。



よく観察しながら形をつくる



アンモナイト消しゴム

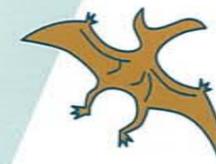


お湯につけて10分

出張展示プログラム

みふねに恐竜がいた頃

御船町恐竜博物館は熊本市立城西小学校と連携して、出張展示を行いました。理科担当の先生の協力でも、昼休みに展示を開放し、自由に見学ができるようにしました。この展示と併せて6年生を対象にした出張授業を行いました。



出張展示と出張授業



博物館実習

学芸員の資格取得のためには博物館実習が必要です。恐竜博物館では毎年実習生を受け入れています。今年度の博物館実習では熊本大学などから3名の実習生を受け入れました。当館の博物館実習では日頃の調査・研究に基づいた「情報発信(展示)」と「教育活動」の実習を中心に行っています。このような博物館実習も恐竜博物館の重要な教育活動のひとつです。



博物館実習の様子